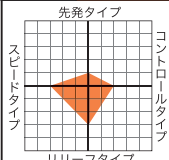


2017 プロ野球12球団選手名鑑

36 高木 伴

投手 カカキ・パン

右投右打 / 180cm80kg
27歳3年目 / 14・4位
市川口高→東京農業大→NTT東日本



駆け引 B / 守・牽制 S

●昨年の成績
4試合0勝0敗0セーブ
投球回6 防御率6.00

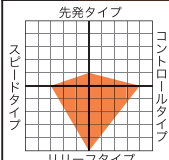
活躍予想 梅 ↑

★W / 3年目を迎える右腕。一昨年秋から横手投げに挑戦し、昨春キャンプでは山田久志氏（元阪急）の指導も受けた。しかしその後は再び上手に戻し、ウエスタンでは救援で43回を投げ自責点5。防御率1.05の好成績を残した。★G / 退路を断って戻した上手からの、思いのこもった投球。★A / 昨季終盤には1軍で4試合に登板。短いイニングながら3試合で失点し、2試合で被弾。気持ちは熱くも頭はクールに、致命傷を負わない制球を。

35 比嘉 幹貴

投手 ヒガ・モトキ

右投右打 / 177cm77kg
35歳8年目 / 09・2位
コザ高→国際武道大→日立製作所



駆け引 A / 守・牽制 A

●昨年の成績
16試合1勝1敗0セーブ
投球回9 1/3 防御率4.82

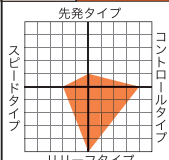
活躍予想 竹 ↓

★W / 中継ぎ右腕。15年8月の右肩手術から復帰した昨季、ストレートの平均球速は140.9キロ。手術前と比べ遜色なかった。奪三振率は9.64と良好で、与四球率は2.89。結果がよくなった中、三振が取れて四球が少ないという元来の長所を維持したのはさすが。★G / 奪空振り率20.5%のスライダー。平均球速103.1キロのカーブも空振りを奪うのに有効。★B / スライダーで被本塁打3本。球質はいいが甘く入らないよう注意。

47 海田 智行

投手 カイダ・トモユキ

左投左打 / 179cm81kg
30歳6年目 / 11・4位
賀茂高→駒澤大→日本生命



駆け引 A / 守・牽制 A

●昨年の成績
50試合1勝3敗0セーブ
投球回45 1/3 防御率2.78

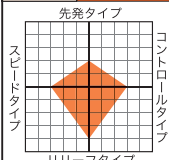
活躍予想 竹 →

★W / 中継ぎ左腕。昨季は自己最多50試合に登板、ポジションを確立した。カットボールで54%、全体で58%とゴロ割が高く、打たせて取るタイプ。左投手だが対左打者の被打率240、対右打者は229と右をよく抑えている。★G / フォークの投球割合が15年の19%から26%と増え、被打率は220から190と向上。対左にもフォークを17%投げており、タテの変化で勝負できる。★B / 得点圏被打率.320。走者を背負った時が課題。

42 ヘルメン

投手 ゴンザレス・ヘルメン

右投右打 / 185cm90kg
30歳1年目
ロッキーズ



駆け引 B / 守・牽制 C

●昨年の成績
(MLB) 40試合2勝1敗1セーブ
投球回40 2/3 防御率5.31

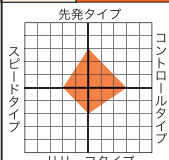
活躍予想 梅 ↑

★W / ドミニカ共和国出身の救援型右腕。昨季3Aでの成績は11試合、1勝0敗3セーブ、防御率0.66。メジャー通算成績は129試合登板、3勝3敗3セーブ、4ホールド、防御率4.62。★G / 投球の約3割を占める140キロ級の高速チェンジアップ。5割近い驚異の奪空振り率を誇り、三振の約6割をこの球種で奪っている。★A / 持ち球のスピードがどれも似ているのが難点。緩急をつけるべく、球速120キロの球種をひとつ覚えたいところ。

57 山田 修義

投手 ヤマダ・ノブヨシ

左投左打 / 184cm85kg
26歳8年目 / 09・3位
敦賀気比高(甲)



駆け引 B / 守・牽制 C

●昨年の成績
12試合2勝7敗0セーブ
投球回58 1/3 防御率4.94

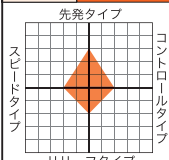
活躍予想 梅 ↑

★W / 左の先発候補。昨季は自身初となる2ケタ登板。今季はローテ入りが期待される。★G / ストレートは平均球速138.7キロでもキレがあり、奪空振り率7.7%で被打率.255と良好。さらに与四球率2.93と安定している。★A / 追い込んでから2割4分も打たれ、決め切れない。被打率はスライダー.354、チェンジアップ.276、フォーク.250で絶対的なボールがない。カーブは7打数4安打で被本塁打3本と打ち込まれた。決め球の習得を。

48 齋藤 網記

投手 サイトウ・コウキ

左投左打 / 181cm89kg
21歳3年目 / 14・5位
北照高(甲)



駆け引 C / 守・牽制 C

●昨年の成績
1試合0勝0敗0セーブ
投球回4 防御率9.00

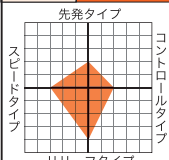
活躍予想 梅 →

★W / 超素材型左腕。1年目はウエスタンで10回を投げて23安打、7本塁打、12三振、7四球、自責点16。ここから昨季は一気に登板数を増やし、73回2/3を投げ28安打、38三振、46四球、自責点43。首脳陣の期待にひとまず応える体の強さを示した。★G / 上半身と下半身のタイミングが合った時のストレート。可能性が詰まっている。★A / 土台の安定が第一。実戦マウンドを重ねていく中で、最力を発揮できる形を早く見つけた。

60 赤間 謙

投手 アカマ・ケン

右投右打 / 180cm80kg
27歳2年目 / 15・9位
東海大山形高→東海大→鷺宮製作所



駆け引 C / 守・牽制 C

●昨年の成績
24試合0勝1敗0セーブ
投球回35 防御率3.09

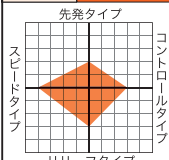
活躍予想 竹 ↓

★W / 中継ぎ右腕。昨季は1年目で開幕1軍を果たし、6月以降は防御率1.59と安定。社会人出身の下位指名で注目度は低かった中、即戦力の期待に応えた。★G / チェンジアップの被打率.105。この数字は同球種の被打率30以上の投手ではNPB1位で、右打者に対して17打数0安打。対右打者全体でも被打率.153と抑えている。★B / 三振よりも四球が多く、運に恵まれた感も。逆球率8.9%と制球は悪くなく、狙い過ぎての四球に注意。

58 金田 和之

投手 カネダ・カズキ

右投右打 / 184cm86kg
27歳5年目 / 12・5位
都城商高→大阪学院大→阪神



駆け引 B / 守・牽制 B

●昨年の成績
6試合1勝0敗0セーブ
投球回6 防御率6.00

活躍予想 竹 ↑

★W / 右の中継ぎ候補。昨オア、FA糸井嘉男の人的補償で阪神に移籍。プロ2年目の14年には先発2試合を含む40試合に登板し、5勝をマークした。昨季の1軍登板は6試合にとどまったが、まだ26歳と若く、さらなる成長の余地は十分。昨季ウエスタンでは28試合に登板して4勝1敗、防御率2.2。1軍での通算成績は56試合、7勝1敗、防御率4.27。★G / 打者の手元で微妙に変化する「動く速球」。★A / 低めに投げける意識は大事だが、高めも有効に使う。